

# 『当院回復期脳卒中患者の歩行自立予測 —臨床応用を目指した検討—』(仮)

【目的】脳卒中患者において歩行能力の改善や歩行獲得は主要なゴールの一つであり、限られた入院期間の中で歩行が自立に至るかどうかが早期に予後予測を行うことは重要です。予後予測法を臨床へ導入する際には、内部検証及び外部検証を受け、臨床への影響を評価されていることが重要となりますが、外部検証まで実施されているものは少ないです。さらに、検証がされているものでも、医療環境や患者属性などによって影響を受けることが報告されており、当院の回復期脳卒中患者に合致しない部分もあります。そのため、本研究は第1に当院の回復期リハビリテーション(以下、リハ)病棟に入院した脳卒中患者の退院までの歩行能力の経過や在院日数、ADL等について調査すること、第2に当院の回復期リハ病棟で標準的に使用している評価から歩行自立に関わる因子について明らかにし、予後予測法を構築することを目的とします。

【期間】2024年11月19日～2027年3月31日

## 【方法】

＜対象となる患者さん＞

2020年1月～2023年6月までの期間で脳卒中と診断され、当院に入院し理学療法あるいは作業療法を受けた方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、入院日数、身体機能、日常生活動作 等

## 【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

院長 細野 昇

## ◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

単施設研究用

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 リハビリテーション部 ・ 理学療法士

研究責任者 松本 拓也